

海外サイエンスツアー in オーストラリア

海外科学施設を訪問し、海外の高校生や研究者との交流を通して、グローバルな能力を身につけるとともに、科学技術に対する興味・関心を一層喚起し、また英語での発表能力を養成することを目的としました。

(1) 日程

平成23年7月30日(土)～5日(金)

(2) 活動場所

カランビン野生動物園、クィーンズランド数学・科学・工学専門学校、
クィーンズランド博物館
モートンベイ・リサーチ・ステーション
オーストラリア連邦科学教育センター
スプリングブルック国立公園

(3) 参加者

三国丘高校	SSH課題研究選択生徒	第1学年4名	第2学年3名	第3学年1名
大阪府立生野高等学校		第2学年8名		

(4) 取組の内容

- ・カランビン野生動物園
- ・クィーンズランド数学・科学・工学専門学校のバディとの交流
- ・ホームステイ
- ・モートンベイ・リサーチ・ステーションでの研修
- ・オーストラリア連邦科学教育センターでの研修
- ・スプリングブルック国立公園

(5) 生徒の感想

とても内容の詰まった5日間でした。その分忙しかったのですが、現地での研修やフィールドワークは日本ではできないようなものがたくさんありました。自分で考え、体を動かすものがほとんどだったので、それらを通して思考力や実行力も身に付けることができたと思います。自分の意見を自然にいえる環境だったので、大勢の人々にいたいことを伝える力が身に付いたと思います。このサイエンスツアーはすべてが貴重な経験だったと思います。

自然や英語がとても新鮮で自分の考えの幅も広がったような気がしました。英語での講義やホームステイなど様々な場面で英語の力をつけることができたと思います。本当に楽しく、自分の力を蓄えることができたと思いました。

非常に得難い経験をさせて頂きました。ネイティブの方々と実際に話してみることで自分のコミュニケーション能力において、どこが欠けているのかを痛感することができました。また、学問目的でオーストラリアに行き、自然を肌で感じ、その自然について学ぶことは今しかできないことだと強く思いました。とくに、天文から生物まで幅広く学ぶことはこの機会しかないのではと思います。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

1週間がとても速く感じたほどとても充実したプログラムでした。初めての海外旅行で不安も少しありましたがたくさんのお話を学んでいくことができたと思います。モートンベイ・リサーチ・ステーションでは、大学院の研究施設で体験するようなことを経験することができ、将来の選択肢の幅を広げることができたとともに、あこがれも強くなりました。クィーンズランド大学のバディとの交流もとても刺激的で、海外の高校には様々な人種、出身国の人がいるのに驚き、異文化交流が盛んに行えるうらやましさも感じました。



関西空港にて出発



カランビン野生動物園



ホストファミリーとの交流



QASMT



QASMT での講義



QASMT のバディとの交流



フェリーで研究所へ



モートンベイ・リサーチ・ステーション



ホエール・ウォッチング



マングローブの調査



プランクトンの調査



岩礁海岸と砂浜の調査



大学院生との記念撮影



オーストラリア連邦科学教育センター



スプリングブルック国立公園天文台



関西空港にて帰国